

## UR都市機構との連携による防災ワークショップを開催

11月18日(土)、UR浜甲子園団地なぎさ東集会所にてURコミュニティ阪神住まいセンターと日本赤十字社兵庫県支部の共催のイベントとして地域住民の方を対象とした防災ワークショップを開催しました。

日本赤十字社とUR都市機構では2022年12月に「日本赤十字社とUR都市機構との連携に関する包括協定」を締結しており、この度、その協定をきっかけに兵庫県内での共催イベントが実現しました。URコミュニティ阪神住まいセンターからハザードマップの確認や、防災グッズの紹介等があり、その後日本赤十字社兵庫県支部が担当して一次救命処置(心肺蘇生とAED)の講習を行い、トレーニング用の人形等を使って手当の方法等を学んでいただきました。



## JR西日本列車事故総合訓練に参加

12月1日(金)、網干総合車両所において、列車と車の衝突により車両が脱線し、多くの負傷者が発生したとの想定のもと、JR西日本列車事故総合訓練が実施されました。

姫路赤十字病院の救護班は、重症エリアにてDMAT等の医療機関、消防と連携を図りながら、列車から救出された負傷者の救護と搬送を行いました。

当支部では、今後もこのような訓練を通じて、各機関との更なる連携強化に取り組んでまいります。



### 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えていきます。日本赤十字社では、このような尊いご意思に答えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

### 姫路赤十字病院主催

## 第53回 がんについてもっと知ろう!市民講座を開催します

- 日本の三大疾病と言われている「がん」。
- もっと身近に「がん」を知ってもらいたい・・・と始まった講座です。
- 毎回テーマを決め、様々な視点から、地域の住民の皆様を対象に、がんについての講座を開催しています。
- 第53回となる今回のテーマは「がんと遺伝の関係～わたしががんは遺伝しますか?家族のがんは遺伝ですか?～」です。
- JR姫路駅から徒歩約10分にある「アクリエひめじ」で、清元秀泰姫路市長をお招きし、東京医科歯科大学名誉教授の三木義男先生、近畿大学大学院総合理工学研究科遺伝カウンセラー養成課程客室教授の田村和朗先生にご講演いただきます。参加費は「無料」ですので、ぜひお申込みください。多くのご参加をお待ちしております。
- ※会場の都合により先着100名まで。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

詳しくはこちら



### 対面式の講習の日程

救急法基礎講習(1日の講習)	2月23日(金・祝) 13:00~17:30	会場:日本赤十字社兵庫県支部
救急法救急員養成講習(2日間の講習)	2月24日(土)・25日(日) 9:30~17:30	会場:日本赤十字社兵庫県支部
幼児安全法支援員養成講習(2日間の講習)	2月17日(土)・18日(日) 9:30~17:00	会場:日本赤十字社兵庫県支部

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

### オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
ちょっと知ってみたい。認知症☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	1月23日(火) 10:30~11:30
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】さぎの手当	1月23日(火) 14:00~15:00
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	3月 5日(火) 10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	3月 5日(火) 14:00~15:00
今、考えようよ自分の健康☆	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	3月19日(火) 10:30~11:30
知っておきたい急病・手当の基本☆	【救急法】急病の手当	3月19日(火) 14:00~15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	3月26日(火) 10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	3月26日(火) 14:00~15:00

企業や各種団体でも赤十字オンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認くださいかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ	Tel.078-241-1499
ホームページ(講習のページ)	<a href="https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/">https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/</a>

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字1月号[2024年1月1日発行]



■ ホームページ  
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>  
 ■ インスタグラム  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)  
 ■ Facebook  
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



いのちと健康を守る活動にご協力感謝いたします。

### 令和6年新春メッセージ



日本赤十字社兵庫県支部 支部長(兵庫県知事) 齋藤元彦

#### 兵庫の新たなステージへ

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ヴィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらしてくれました。選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する一年にしたいと思います。まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の無償化や奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。保育・子育てサービスの充実、不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを生み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。高齢者や障害のある方たちが安全安心に暮らせる“共生社会”を実現します。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める高齢者を被害から守るため、全国一の規模で集中的に対策を強化します。自転車ヘルメットの購入支援を行い、自転車死亡事故の減少につながります。また、年齢や障害の有無に関わらず安心して旅行ができるユニバーサルツーリズムや、パラスポーツの普及に取り組めます。団塊世代のすべてが後期高齢者となる2025年を見据え、健康づくりや地域医療構想の推進にも注力します。

地域のポテンシャルを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の営みには、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博を機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールドパビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ALL HAT 2023に参加
- 中播磨地区赤十字奉仕団員研修会が開催
- イオン明石ショッピングセンターにて赤十字救急法ミニ講習会を開催
- 青少年赤十字例会(2学期)を開催
- 兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催
- UR都市機構との連携による防災ワークショップを開催
- JR西日本列車事故総合訓練に参加



## ALL HAT 2023に参加

「ALL HAT」は、神戸市中央区HAT神戸地区全体が一体となって楽しみながら防災の重要性を見直すイベントとして、毎年10月に開催されています。今年度は10月28日(土)に開催され、兵庫県支部もブース出展いたしました。

兵庫県警や灘消防署、自衛隊、JICA、神戸地方気象台など多くのブース出展がされている中、私たちは防災・減災をPRした『缶バッジ制作体験』やクイズ『ぼうさいまちがいさがし』で地域の皆さまに防災への理解を深めていただきました。

180名の参加者がありスタッフ全員大忙しでしたが、参加者の皆さまと一緒に楽しく防災の重要性について共有することができました。

お手伝いいただきました渚中学校の生徒さん、大学生の皆さん、ありがとうございました。



## 中播磨地区赤十字奉仕団員研修会が開催

11月4日(土)、中播磨地区赤十字奉仕団員研修会が開催され、福崎町、神河町、市川町から36名が参加されました。

研修会では、兵庫県支部の宗行救護係長が、これまでの災害救護活動の経験をとおして日本赤十字社の災害時における救護体制や救護活動について講義しました。また、実技としてAEDを使った心肺蘇生について人形を使って実際に胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方を学んだあと、各分区対抗戦で胸骨圧迫レースを実施しました。レースではどれだけ正確な深さと速さで胸骨圧迫が実施できているかで順位が決まるため、各チームで「もう少しゆっくり圧迫して」などお互い声掛けしながら順位を競い、楽しい研修となりました。



## イオン明石ショッピングセンターにて赤十字救急法ミニ講習会を開催

11月5日(日)、イオン明石ショッピングセンターにて赤十字救急法ミニ講習会を開催しました。コロナ禍の影響もあり、ショッピングセンターでの実施は久しぶりとなりましたが、講習会では、心肺蘇生とAEDの使い方を中心に、子どもから大人まで多くの皆さまにご参加いただきました。

また、ナース服・救護服を着用してのフォトスポットでは、親子で記念撮影するなど、大盛況となりました。

兵庫県支部では、このようなイベントを通して、いのちの大切さを伝えていきます。



## 青少年赤十字例会(2学期)を開催

兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会では、例年、学期毎に、JRCメンバー(生徒)が赤十字について学び合う機会として、例会を実施しております。

今回の例会は、これまでの形式から少し形を変え、兵庫県立尼崎小田高等学校主催の「第6回あまおだ減災フェス」にJRCメンバーと神戸青年赤十字奉仕団がブースを出展させていただくかたちで開催いたしました。

JRCメンバーは「胸骨圧迫レース」、神戸青年赤十字奉仕団は「ぼうさいまちがいさがしけんはっけん&避難準備グッズを考えよう」という内容でブースを展開し、2つのブースを合わせて67名の方にご参加いただきました。

その後、地元の方や大学生、小田高生が一体となった防災ファッションショー、BloomWorksによる防災ソングライブを見学し、閉会となりました。

「あまおだ減災フェス」は、今回が6回目の開催ということで、参加者の方の中には防災に関する知識が豊富な方もいらっしゃり、参加者の方からも学ばせてもらう貴重な機会となりました。



## 兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催

紅葉も鮮やかな11月24日(金)、兵庫県公館にて「令和5年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」が挙行されました。

式典では日本赤十字社に多額の寄附や奉仕活動、献血など、ご支援いただいた方々に、齋藤元彦支部長(兵庫県知事)から有功章や感謝状が贈呈されました。また、紺綬褒章など国からの表彰も併せて伝達し、日ごろからのご支援とご協力に対し感謝の意をお伝えしました。

今回受賞者となられましたのは、538の個人、法人、団体の方々です。そして、37名の代表・個人・法人の方々に壇上で有功章等を支部長から贈呈させていただきました。

最後は、令和5年度赤十字ポスターコンクールの優秀作品の表彰でしめくられ、式典終了後、受賞作品の前で支部長と記念撮影をされる楽しそうな様子が見られました。

受賞された皆さま、誠にありがとうございます。そして、今後も赤十字への変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
**活動資金にご協力をお願いします**

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
口座記号番号:01110-0-1136  
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。